

**スーパードリル施工要領書**  
**(アスベストを含んだ壁や天井に対する施工)**

**株式会社 オリエンテック**

## はじめに



アスベストを含んだ壁や天井を施工する際、乾式ドリル(振動)等では、含有している粉塵が飛散してしまうことから、防塵マスクや防護服を着用し、HEPAフィルタ等を取り付けた集塵・排気装置を用いて作業を行なっております。

大気汚染防止法施行規則によれば、特定建築材料(吹き付け石綿等)を使用している建築物を解体・補修等の作業を行なう際は、事前に作業場を、ビニールシート等で隔離・養生をした上で、特定建築材料の飛散を抑制するため、湿潤化し、集塵・排気装置を稼働させてから作業を行ないます。発生した特定粉塵は、産業廃棄物として適切に処理します。

特殊冷却液を使用しながら穿孔する弊社のドリルは、穿孔作業を行なう際、前もって特定建築材料を湿潤化する事により、粉塵の飛散が全く無く、また、湿式型掃除機を併用する事により、汚染された廃水を確実に回収する事ができます。掃除機に、回収された汚染水は、乾式ドリルと同様に、特定粉塵としての処理が必要ですが、アスベストを含んだ粉塵が発生しないことから、HEPAフィルタは不要です。

以上のことから、弊社のドリルは、湿式型掃除機を併用することにより、アスベストを含んだ壁や天井への穿孔作業を安全かつ確実にこなす事ができます。

## アスベストを含んだ壁や天井に対する施工手順

ドリル準備	<ol style="list-style-type: none"><li>1. スーパードリルと湿式型掃除機を準備</li><li>2. スーパードリルにビット・ボディを取り付ける</li><li>3. 専用チューブを用い、スーパードリルに冷却剤ポンベ収納ボックス(ポンベホルダー)を接続</li></ol>	スーパードリルと湿式型掃除機 
スーパードリルと湿式型掃除機の接続	<ol style="list-style-type: none"><li>4. ドリルの先端の継ぎ手部にホース(φ9×φ13)を取り付ける。</li></ol>	継ぎ手部にホースを取り付け 

	<p>5. 掃除機のホースの先端にホース（ドリル側）ジョイントアダプターを取り付ける</p> <p>6. ドリル側のホースをホースジョイントアダプターに差し込む ※確実に接続されているか確認</p>	<p>ジョイントアダプターのホース取り付け</p>  <p>接続完了</p> 
<p>穿孔開始</p>	<p>7. 穿孔作業 穿孔作業の前後に掃除機の電源をON/OFF</p> <p>8. 作業終了後、法の下、廃液の処理 ※穿孔数が多い場合、廃液が溢れないように注意</p>	<p>穿孔状況</p> 